管理部

JA全農福島SR事業 ～田んぼの生きもの調査隊～

JA全農では、地域社会の一員としてSR（社会的責任）活動に積極的に取り組んでいます。「田んぼの生きもの調査」は、実際に田んぼに入って田んぼや生きものと触れ合うなかで、「農」・「食」の大切さや農業（水田）の持つ多面的機能や生物多様性との関わり、環境保全に果たす役割について伝えています。

令和元年度は、JA福島中央会と福島県農業協同組合青年連盟の協力により、県南地域や会津・いわきを中心に、県内の小学校の授業や行政の取組みの一貫として行われました。（春の生き物調査は13ヶ所で実施しました。）

講師は、㈱全農ビジネスサポートの山﨑敏彦さん・中川　護さん、調査隊の子どもたちと一緒に田んぼに入ります。

1時間程度で田んぼから上がり、図鑑を片手に捕まえた虫たちの名前を書きだします。

春の田んぼには、オタマジャクシ、カエル、ヤゴ、ドジョウ、タニシ、コオイムシに外来種のアメリカザリガニ等、沢山の生き物に出会えます。

初めは裸足で田んぼに入ることに戸惑っていた子供たちも「楽しかった。」「もっと虫を探したい。」と笑顔で終了しました。

秋には春とは違った生き物を発見できます。全農は秋の生き物調査もサポートします！

田んぼの生きもの調査隊

アマガエルとツチガエルの違いは・・・吸盤！

「あっ！あそこに何かいるよ！」

Farming Information　今月の営農情報

営農企画部

土壌肥料技術研修会（基礎）開催

7月25日、農業技術センターにおいて、営農・購買・渉外業務の担当職員を対象とした土壌肥料技術研修会の基礎研修を開催しました。今回で4年目となる研修ですが、32名と多くの受講生が参加しました。

研修内容は、作物に必要とされる養分とその役割、土壌の分析項目それぞれの意味、肥料の種類と特徴について、作物と土壌に関する情報などを学習しました。

その他に実演研修として、農業技術センター裏の圃場を利用して土壌の断面調査を行い、深さによって土質が変化する状況などを確認しました。

また、分析を行う土壌サンプルは適切に採取することが重要であることから、その方法やサンプルの乾燥・粉砕方法も実演しました。屋内の実演研修では、実際の土壌を使って、砂質か粘土質かを診断する土性の判定方法や、pHメーターを使ったpHの測定方法とその際の注意点について学習しました。

研修後に行ったアンケートでは、肥料・農薬の銘柄について具体的な効果と使用方法を知りたい、今回のような新人職員を対象とした研修を増やしてほしいなどの要望がありました。

次回、11月12日に開催する応用研修では、土壌分析結果の例を基に肥料を選定、適切な施肥量を計算し、施肥設計書にまとめあげる内容の研修を予定しています。

土壌の断面調査

土壌肥料技術研修会

JAふれあい食材 おすすめレシピ

8月にお届けする材料を使用したレシピです

夏野菜と炒める豚肉の甘辛炒め

材料

- 夏野菜と炒める豚肉の甘辛炒め……150g
- しめじ……100g
- ピーマン……2個
- なす……1本
- ミニトマト……4個
- サラダ油……大さじ1

作り方

1. 商品は解凍する。
2. しめじは軸を落として食べやすい大きさにほぐす。ピーマンとなすは乱切りにする。
3. フライパンにサラダ油をひき、①を炒める。ある程度火が通ってきたらしめじ、ピーマン、なすを加えて炒め、最後にミニトマトを加えて炒め合わせる。

●材料は１人分が基準になっております。
●盛付例はイメージです。
※材料の野菜がない場合は家庭にあるお好きな野菜をお使い下さい。

東北地方の長期予報

＜予想される向こう１か月の天候＞

向こう１か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう１か月の平均気温は、高い確率 60%です。

週別の気温は、１週目は、高い確率 80%です。２週目は、高い確率 50%です。

＜気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞

7月27日～8月26日

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
【気　　温】東北地方	10	30	60
【降 水 量】東北地方	40	30	30
【日照時間】東北地方	30	30	40

＜気温経過の各階級の確率（%）＞

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
7月27日～8月2日	10	10	80
8月3日～8月9日	20	30	50
8月10日～8月23日	30	30	40

凡例：　低い（少ない）　平年並　高い（多い）

（仙台管区気象台　発表）

編集後記

今年の立秋は、８月８日。暦の上では秋の始まりです。秋が始まるとはいえ、秋分の日までは、日中でも暑さが続きます。夏至に昼の長さがピークとなり、秋分の日に昼と夜の長さが同じくなります。立秋は、夏至から数えて 48 日目、立秋から数えて 47 日目が秋分の日で、立秋は、夏至から秋分の日までの中間に位置した日になっています。

８月は、秋物の農産物の早生種と夏物の晩生種が出回る時期です。夏物と秋物を同時に味わってみてはいかがですか？

今月の主な行事予定

8月2～3日	園芸部	県知事・会長・トップセールス
8月2～5日	大　阪	豊中まつり
8月9日	米穀部	令和元年度産米集荷対策会議
8月9～13日	園芸部	愛情館お盆花市
8月20日	米穀部	多収穫米セミナー
8月26～29日	園芸部	県産桃プロモーション
8月31日	管理部	平成31年度ＪＡ全農北日本くみあい飼料和牛枝肉共励会

ラジオ福島「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分　放・送・予・定

8月5日	管理部	広報活動について
8月6日	園芸部	種苗情報（秋まき種子等）
8月12日	米穀部	ふくしま米　販売情勢（酒米）
8月13日	畜産部	夏場における飼養管理について
8月19日	生産資材部	農作業安全運動の取組みについて
8月26日	園芸部	直販事業について